

おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク

2020年9月号



今月の表紙

さ さ き れつ ち くさ
佐々木 烈さん・千草さん
あいら まなか さく
愛空ちゃん・愛花ちゃん・咲くん
(8歳) (6歳) (4歳)
きよ こ
清子さん

【特集】10月1日全国一斉スタート 赤い羽根共同募金	2～3
生きがい健康づくり事業	4
2020ボランティア体験inいわて	4
大船渡学で生まれた新たなつながり	5
吉野森サロン「ジーバー」運営委員会	5
お知らせ	6～7
輝き人	8



10月1日
全国一斉スタート

赤い羽根共同募金

地域課題の解決に取り組む
民間の団体を応援するために



○赤い羽根共同募金の成り立ち

赤い羽根共同募金は、第二次世界大戦後の1947（昭和22）年に戦後の復興を支えるため、市民主体の「国民たすけあい運動」として始まりました。

当時集まった募金額は、およそ6億円。現在の貨幣価値にして1,200億円に相当する額で『被災した福祉施設』のために活用されました。

その後、時代に応じ使われ方は変化し、現在は、『地域課題の解決に取り組む民間団体』を応援するために使われています。

○12月は地域歳末たすけあい募金も

赤い羽根共同募金運動は毎年、10月1日～12月31日まで全国各地で展開されますが、その一環として12月1日～31日の期間は「地域歳末たすけあい募金」も展開されます。「地域歳末たすけあい募金」は、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人、経済的に困っている世帯の支援や地域課題解決の体制づくりなど、対象や活用の仕方は地域によって様々ですが、共通して『新たな年を安心して迎えることができる』ための活動に使われます。

○被災者の生活再建を支援

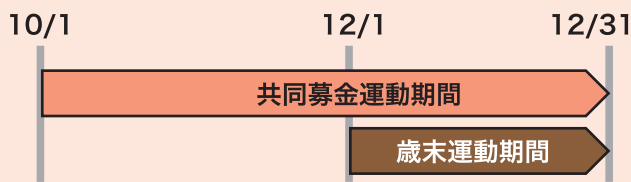
例年行われる募金運動とは別に、昨年の台風第19号災害や今年7月の豪雨災害などの災害が発生すると、『災害義援金』の募集を開始します。寄せられた『災害義援金』は、生活再建の支援を目的に『被災をした人たちに』に全額届けられます。

○大船渡の募金実績と使い道

令和元年度、大船渡市では合計8,957,765円の募金が寄せられました。そのうち、一般募金が5,342,961円（目標額600万円）、地域歳末たすけあい募金が

【一目で分かる運動期間と配分先】

- ① 一般募金（10月1日～12月31日）
＝地域課題の解決に取り組む民間団体へ
- ② 地域歳末たすけあい募金（12月1日～31日）
＝新年を安心して迎えることができる活動に
- ③ 災害義援金（災害発災時）
＝全額被災した人たちへ



【令和元年度の募金実績】

一般募金・歳末たすけあい募金 単位：円

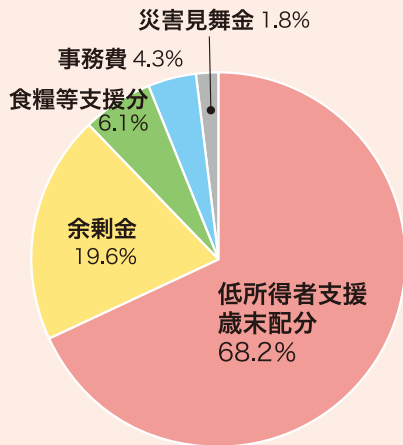
募金種別	募金実績額	
	一般募金	地域歳末たすけあい募金
戸別募金	4,790,900	1,988,875
街頭募金	176,032	108,291
法人募金	76,902	10,000
学校募金	103,965	140,283
職域募金	0	506,008
イベント募金	10,472	0
個人募金	80,935	45,556
その他	103,755	498,012
合計	5,342,961	3,297,025

災害義援金 単位：円

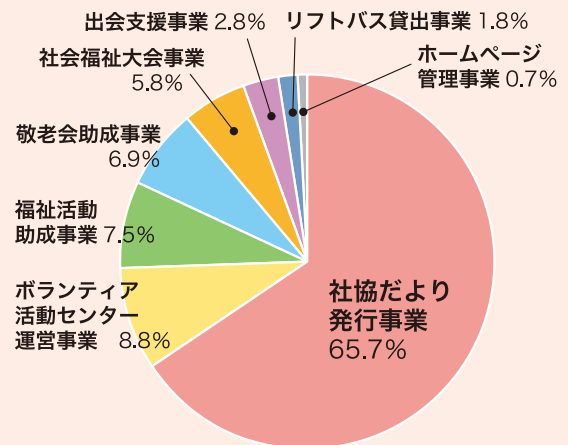
義援金名	募金実績額
8月佐賀県豪雨災害	31,798
台風15号災害	28,759
台風19号災害(県内)	137,404
台風19号災害(県外)	119,818
合計	317,779

3,297,025円（目標額350万円）、災害義援金が317,779円となっています。今年度の大船渡市への一般募金の配分額は5,427,472円で福祉活動への助成、ボランティアセンターの運営、広報活動などに活用されています。

【令和元年度の使い道】



歳末たすけあい募金



共同募金



大船渡市社協広報部長
にこにんが答える！

赤い羽根共同募金ギモン解決 Q&A

Q1 なぜ、赤い羽根なの？

A 勇気のしるしです。

欧米では勇気と正義ある者に赤い羽根を付ける権利が与えられていました。そのため、募金＝勇気ある行為とされ、赤い羽根が採用されています。募金をすると、赤い羽根を渡されるのはあなたを勇者であると認めるということです。

Q2 赤い羽根共同募金って日本赤十字社の活動なの？

A 違います。

赤つながりで同じと思われがちですが、赤い羽根共同募金は、社会福祉法人中央共同募金会がその運営主体となっています。厚生労働省の告示に基づいて、実施されます。

Q3 大船渡市で集められた募金は全国各地で使われているの？

A 基本的には大船渡市で使われます。

約70%が大船渡市での活動に充てられ、残り約30%は岩手県内の活動に充てられることになっています。また、地域歳末たすけあい募金は全額大船渡市での活動に充てられます。

Q4 胸元に赤い羽根の他に別の色の羽根を付けている人がいます。全部共同募金なの？

A 違います。

青い羽根は、海難救助のボランティア活動を援助する募金で、緑の羽根は森林整備や緑化推進のための募金です。ちなみに、運動期間になると募金をした人の胸元にそれらの羽根が付けられています。

【ここがポイント!!】

個人による2,000円以上の寄付は、「特定寄付金」として、所得控除または税額控除の適用を受けることができます。また、法人による寄付も、「指定寄付金」として、寄付金の全額を損金算入することができます。確定申告の際は、領収書の添付が必要です。



○募金は身近にできる
勇気ある活動

大船渡市共同募金委員会では、今年度も各世帯に協力をお願いする「戸別募金」を中心に運動を展開します。

また、10月1日(木)はサンリア・マイヤ大船渡店・赤崎店・インター店の4か所まで午前10時から午後3時まで街頭募金を実施します。

新型コロナウイルスにより大変な状況があるとは思いますが、皆さんのご協力をお願いします。

「コロナに負けない！」「水泳教室」再開 生きがい健康づくり事業



大船渡市Y・Sセンターでは、生きがい健康づくりを目的として水泳教室を開催しています。

コロナウイルス感染予防の観点から今年度の開催を見合わせていましたが、国から示された新しい生活様式にならない、人数制限等の予防策を用いながら再開しました。

一期の開催期間を短縮し、申し込み方法を従来の来所申込みに加え、電話申込みも可能としたことから参加しやすくなっ



密にならないよう参加人数を制限しながら開催

います。

8月19日(水)に開催した「リラックス水泳教室」には再開を待ち望んだ15人が参加。久しぶりに入るプールの感触を確かめながら水中運動を楽しんでいました。

参加者のAさんは「コロナウイルス感染予防のため、外出なども自粛。体を動かす機会も無かったので、水泳教室の再開を首を長くして待っていました。久しぶりの水中運動は、とても心地よく、教室の仲間とも再会できたので、満足しています。これまででも体を動かすことで心身の健康が保たれてきたので、今後も休まず参加したいと思います」と話してくれました。

今年度は五期に分けて教室を開催し、感染状況に合わせて参加員などを調整していく予定です。申し込み状況によっては希望する教室に参加できない場合がありますが、多くの皆様に参加していただくため、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

11人の力が子どもたちの笑顔をつくる 2020ボランティア体験inいわて

岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターでは、県内の社会福祉協議会と共催で毎年「ボランティア体験inいわて」を実施しています。

この企画は、自分たちの住む地域への理解関心を深め、ボランティア活動の意義を学び、参加するきっかけづくりを目的に7月から1月まで実施しているものです。

大船渡市では、8月15日(土)にARTS for HOPE (高橋雅子代表)が主催するHAPPY SUMMER ART



参加した子どもたちと一緒に作品を作りました

2020のアーティストイベントボランティアに11人の高校生が参加。会場設営や用具の準備、受付、新型コロナウイルス感染予防の検温、子どもたちへの画材の受渡しなど活動内容は多岐にわたりました。

当日は、21人の子どもたちが参加し、たくさん笑顔と歓声のなか1つの作品ができあがりました。参加した大船渡高校3年の大津暖さんは、「自分たちが準備したキャンバスに子どもたちが笑顔で描いている姿と作品に感動しました。やりがいのある時間でした」と話してくれました。

また、同じく佐藤花帆さんは「子どもたちが笑顔で楽しんでいる姿をサポートすることができて幸せでした。また参加したいです」とも。

高橋代表は、「準備から片付けまで様々な作業があり、高校生に助けてもらいました。みんな子どもたちへ素敵な時間をつくることができました」と感謝の言葉をくださいました。

地域の高齢者と文通活動 大船渡学で生まれた 新たなつながり



岩手県立大船渡高校では、平成28年から「大船渡学」に取り組んでいます。

この学習は、「総合的な探求の時間」の一環で、テーマをもとに自分が関心のある事柄について考え、自ら行動し、解決方法を探る力を養うものとなっています。

1学年のテーマは「自分の興味・関心領域を活かして、新型コロナウイルスに関連する課題を解決する」。このテーマに対し、佐々木希愛さん(15)は、コロナ禍にお



将来は地域医療に携わる仕事がしたいと語る佐々木さん

ける地域サロンの休止などにより、高齢者が孤立してしまうのではないかと、という点に着目。この課題の解決策として、一人暮らしの高齢者と文通することで孤独感を解消できるのではないかと考えました。

文通相手を探すため、社会福祉協議会が地域に働きかけ、70代、90代の高齢者4人へ手紙を送ることにしました。自己紹介や大船渡学について、夏の暑さやコロナ禍での生活を気遣う内容を、心を込めて書いたそうです。

数日後、自宅へ返事が届き、「自分宛てに手紙が届いたのが初めてのことだったので、本当に嬉しかった」と佐々木さん。「自分で考え、行動することで得られた達成感は大きい。校外の大人に関わる機会にもなり、良い経験になったし感謝している。コロナが終息したら、文通相手に直接お会いしてみたい」と話してくれました。

今後でもできる限り文通を続けるそうです。

みんな心待ちにしていました 吉野森サロン「ジーバー」運営委員会



終始参加者の笑顔が絶えることがない時間でした

吉野森サロン「ジーバー」運営委員会(朴澤和子代表)は、自宅に閉じこもりがちな高齢者が、交流・仲間づくりができることを目的に今年度から始まったサロンです。

これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やりたくてもできない状況が続き、ようやく9月8日(火)開催に漕ぎ着けることができました。

当日は参加者、スタッフ合わせて25人が集まりました。マスク着用や検温、手指消毒に始まり、終了後の使用器具の消毒に

至るまで感染対策を徹底し開催されました。

この日のプログラムは、笑いヨガと大型絵本。笑いヨガインストラクターの佐々木寿子さんを招いて、ユーモアを交えた笑いヨガもやってみました。大きな声を出せないなかでも盛り上がり笑顔が飛び交いました。

大型絵本は、布やフェルトで作りました大人の絵本を童心に返り和やかな雰囲気の中鑑賞しました。

参加された千葉若子さん(80歳)は、「一人暮らしで、通院生活ばかり。参加できてとても楽しかった。何十年ぶりに手を叩いて笑いました」と話してくれました。

朴澤代表は、「コロナ禍により延期していましたが、助成金も決定し、開設の運びとなり喜びもひとしおです。試行錯誤の運営となりますが、永続できるようスタッフ一同協力しながら頑張っていきたいと思えます」と意気込みを話してくれました。

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※正午に施設内を消毒するため、午前11時50分から午後1時までは利用できません。

場 所 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、10月16日（金）（午前10時～午前11時50分）に開催します。

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます

相談及び講習についての問い合わせ・申込は下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（10月）

開催日	場 所	時 間
5日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
8日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
12日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
15日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
19日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
22日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
26日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時

小規模介護事業所合同就職面談会

地元根差した介護事業所が参加します。一度に情報収集ができる機会となりますので、ライフスタイルにあった職場を希望する人、未経験の人など、お気軽に参加ください。

日 時 10月20日（火）午後1時～午後4時30分（受付は午後0時30分から）

場 所 大船渡市魚市場 3階多目的ホール

対 象 介護の仕事に就職・転職を希望する人、関心のある一般の人、令和2年度卒業予定の学生など

参加費 無料

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電 話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催しますが、状況により延期または中止する場合があります。

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ
令和2年10月

申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります。

*子育て支援事業情報

子育て支援ボランティア養成講座

下記の日程で子育て支援における心構えや知識の習得を図る子育て支援ボランティア養成講座を開講します。子育て支援に興味のある人、ファミリーサポートセンターのあずかり会員・どっちも会員の人は事務局までお申込みください。

日 時 10月7日～11月4日の毎週水曜日
午後1時30分～午後4時

会 場 大船渡市Y・Sセンター

対 象 大船渡市在住の20歳以上の人

定 員 10人

受講料 無料

申込方法 10月2日（金）までに電話または直接来所して申込み

子育て支援ボランティア養成講座日程

開催日	内 容
10月7日(水)	保育の心 子どものお世話
10月14日(水)	安全・事故 子どもの栄養と食生活
10月21日(水)	身体の発育と病気 小児看護の基礎知識
10月28日(水)	心の発達とその問題
11月4日(水)	子どもの遊び 事業を円滑に進めるために

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。つどいの広場ご利用の際は事前予約が必要です。

つどいの広場イベント日程（10月）

開催日	内 容	時 間
1日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
14日(水)	健康相談会	午前10時20分～午前11時50分
15日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
	ハローワーク出張おしごと相談会	午前10時～午前11時30分

***Y・Sセンター 第2期水泳教室(9～10月)受講者募集**

情報

下記の日程で各種水泳教室を開講します。事前申込みが必要です。

場 所 大船渡市Y・Sセンター
受付期間 9月15日(火)～28日(月)
受付時間 9時30分～午後3時
 ※月曜日と消毒時間(午後3時～午後4時)は除く
受付方法 申込書と受講料を添えて申込み
 (電話での申込み可)

※電話申込みの場合は受付期間内に申込書と受講料を持って来所してください。受付期間内に来所されない場合は予約取消になりますのでご了承ください。
受講料 500円(プール利用料別)

水泳教室日程 (各教室全5回)

曜日	教室名	時間	開催日	定員
火	スイスイ水泳教室(午前)	午前9時30分～午前10時30分	9月29日～10月27日	15人
	スイスイ水泳教室(午後)	午後1時30分～午後2時30分		10人
水	ラクラク教室(午前)	午前9時30分～午前10時30分	9月30日～10月28日	20人
	ラクラク教室(午後)	午後1時30分～午後2時30分		
	リラックス水泳教室	午後6時30分～午後7時30分		15人
木	チャレンジ水泳教室(午前)	午前9時30分～午前10時30分	10月1日～29日	15人
	チャレンジ水泳教室(午後)	午後1時30分～午後2時30分		10人
金	イキイキ教室(午前)	午前9時30分～午前10時30分	10月2日～30日	20人
	イキイキ教室(午後)	午後1時30分～午後2時30分		20人
土	児童水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	10月3日～31日	25人

寄付・寄贈の受入(8月分) (敬称略)

令和2年7月豪雨災害義援金
 匿名、みうらのろこ、西村文二
寄付物品
 匿名 (タオル類)

一般募金(8月) (敬称略)

匿名

*その他

寄付・寄贈の受入(8月分) (敬称略)

寄付物品
 明治安田生命保険相互会社大船渡営業所
 (食料品)

***共同募金情報**

災害義援金を募集しています

令和2年7月の豪雨により、各地で甚大な被害が発生しました。大船渡市共同募金委員会では、下記の災害義援金を募集しています。寄せられた義援金は、被災地の市町村を通して被災者へ配分されます。

受付中の義援金

令和2年7月豪雨災害義援金(地域特定なし)、長野県・山形県・熊本県南・福岡県・島根県・佐賀県・大分県・鹿児島県・岐阜県豪雨災害義援金

受付場所 大船渡市Y・Sセンター

その他 救援物資、物品は取り扱いません。受付期間についてはそれぞれの地域で異なります。

今月の表紙

佐々木 烈さん
 千草さん
 愛空ちゃん
 愛花ちゃん
 咲くん
 清子さん
 (赤崎町在住)

ピアノを上手に弾けるようになりたい愛空ちゃんと愛花ちゃん。野球が上手になりたい咲くん。これからも元気で素直な優しい人に育ってほしいです。



我が家のペット

我が家の

「チャッピーちゃん」

寝ることと食べることが大好きな14歳5か月の男の子です。

立根町 ペンネーム エムアンドエム

ばばば～!
 なんと気持ちよく
 布団でねんねして
 いいごど～



投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

- ①写真データをメールする
ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付
- ②写真を郵送する
〒022-0002
立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係
- ③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前(ペンネーム可)
- ・住所(町まで可)を必ず添えてください。

次号締め切り
10月5日(月)

どしどしご応募ください!

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

輝き人

し だ え もえ
志 田 恵 萌さん(21歳)

赤崎町出身 盛岡市在住
大船渡市で育ち岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科で、福祉について勉強に励んでいる。



地域福祉の担い手として

○運命の出会い

私の母は介護の仕事をしており、やりがいや楽しさなど、小さい頃から仕事の話をよく聞かされ育ちました。そのためか、中学校の時には、ぼんやりとではありますが、福祉の仕事に興味を持つようになっていました。

高校生の時には、岩手県立大学社会福祉学部の先生の講義を受ける機会がありました。その中で、ありのままを受け入れる「受容」が大切であるということや学び、「受容」という考え方に興味を持ち、そこから福祉の仕事に就きたい想いと、この先生の元で学びたいという気持ちになり、岩手県立大学社会福祉学部に進むことを決心しました。

○現場を経験してみても

大学では、福祉についての基本的な勉強のほか、助けを必要とし

ている人にどのような姿勢で臨めばいいのかを学んでいます。

例えば、先生から相談についての事例を出してもらい、その事例について意見を出し合い、グループで解決方法を探る話し合いや、実際に福祉の現場でどのように支援が行われているか学んでいます。

現在、大船渡市社会福祉協議会で実際に現場を経験させていただいています。この経験から、相手の立場に立つて考えることの難しさや、何気ない会話でも、その話の中から必要な情報を得ているということ、色々な視点から物事を捉えなければならぬということを感じています。

○地域住民の想い

母が以前から参加していた赤崎復興市に自分も参加する機会がありました。

この復興市は、地元の有志や神

戸大学生が中心となった「赤崎復興隊」が運営していますが、復興市の運営以外に、まちづくりや産業振興についても活動していることを知り、自分も独自に地域のことにについて調査してみました。

近所の人などを中心に今の生活に幸せを感じているかを調査した結果、今の生活で十分幸せだという人がいる一方で、「復興が進み住む場所には困っていないが、周りに知り合いがいなく寂しい」、「家の近くに商業施設が欲しい」など色々な結果が出て、みんなが幸せな生活を送れるにはどうすればよいか考えさせられました。

○みんなが幸せに暮らせる町へ

大船渡を離れて、故郷のありがたさを感じています。将来は大船渡に戻り、地域の人たちの困りごとや不安を感じていることに耳を傾け、地域みんなが今の生活に満足し、幸せに住み続けられる町づくりを進められる地域福祉の担い手になりたいです。